

平松シェフに聞く「観光都市さっぽろ」の実力

「まず料理文化の 確立が不可欠です。」

日本を代表するフランス料理界の逸材・平松宏之シェフ。海外生活の経験も豊富な、平松シェフに「さっぽろ」そして「おもてなし」についてきたんのないご意見をお聞きしました。



平松宏之(ひらまつ・ひろゆき)さん

PROFILE
1952年東京生まれ。日本を代表するフランス料理のオーナーシェフ。1970年料理人としての人生を歩み始める。フランスに渡りレストランで修行後帰国して東京・西麻布に「ひらまつ亭(現レストランひらまつ)」を開店。東京を中心に6店、ほかに博多にレストランを次々オープン。2003年パリ店が日本人オーナーシェフの店として、レストランのガイドブックで有名な「ミシュラン」の星を獲得。今年4月に札幌・円山に「ル・バエレンタル」をオープン。

札幌に料理文化を根付かせたい

「まずお聞きしたいのは、日本国内はもちろん海外生活も豊富な平松シェフから見ると、観光都市・札幌の印象はどうでしょう。」

誤解を恐れずにいうと、札幌には料理文化が乏しいということでしょうか。例えば、京都に行けば懐石料理も食べたいし、すき焼きも食べたいとなります。しかし、札幌に来て食べたいものといえば、カニ、ラーメン、ジンギスカン。これだけで料理文化と呼ぶには少々無理があります。これは食材に恵まれたことも要因ですが、ただそれだけで札幌に料理文化が育たなかったとはいえないと思います。つまり、札幌圏で完結していて、互いに切磋琢磨する風潮がないように感じられます。それに、切磋琢磨して上を目指そうにも、ピラミッドの頂点に位置するような飛び抜けたお店も見あたりません。これでは、私自身が札幌で料理文化を楽しもうとしても無理なわけ



キーツアーはあっても、オビニオンリーダーとして北海道観光をPRしてくれる富裕層に対するマーケティングが欠如しているのが実状です。ここをどうしていくかが、今後の札幌観光の課題ではないでしょうか。

富裕層を全国から集客したい

「その札幌に、この春にレストランをオープンさせるわけですが、その出店に当たっての意気込みをお聞かせください。」

私のライフワークは、この日本にフランス料理を広めることにあります。そこでフランスから帰国後、まず東京を中心にレストランやピストロをオープンさせました。次にフランス料理を根付かせたい都市として、真つ先に浮かんだのが札幌でした。それは、札幌が四季がはつきりしていて夏もさわやかで、フランスと空気が似ていたからかもしれません。そう思い立ったのが、今からこれ十五年前のこと。その後、札幌への出店は、場所の問題やさまざまな条件が整わなくて、今年まで延び延びになってしまいました。しかも十五年たった今でも、いまだに札幌にはわくわくするような最高のおもてなしをしてくれるお店がほとんど

どありません。例えば、年に1回の特別の日のために、とっておきたい場所、そんなレストランが札幌にはないのではないのでしょうか。ないなら創ろう、そんな理由で札幌でのレストランオープンに踏み切ったのです。確かに今回オープンするようなフランス料理レストランを支えるには、百万人以上の商圏が必要です。その点、札幌は二百万人以上の商圏を持ち、さらに全国各地からの集客力を持っていますし、また北海道外からの観光としての集客力も持つていて、このロケーションは魅力的。実際、今度のレストランも2〜3割のお客さまは、北海道外からの集客を見込んでいるほどです。つまり、日本で最高のリゾート北海道でこそ味わえるフランス料理を楽しむために、札幌を訪れてもらう、そんな富裕層を対象としたツアーがあつてもいいと考えているのです。

レストランでの最高のおもてなしとは

「平松シェフにとって、レストランにお客さまを迎えて「おもてなし」をするということとは、どういう意味をもっていますか。」
基本は、北海道一のフランス料理を、日本でトップクラスのサービスで提供するということです。今回このレストランをオープン



北海道は北海道拓殖銀行の破綻に始まり、全国で一番早くに経済不況がやって来た地域といわれます。しかし、一方で、行政に頼らずに市民グループが立ち上げたお祭り「YOSAKOIソーラン」を、全国レベルのお祭りへ発展させたパワーがあるはず。そのパワーで、今こそ北海道を活性化させ、大いに札幌、そして北海道観光を盛り上げてください。微力ながら、私たちがそのお手伝いができればと思っています。



札幌店「ル・バエレンタル」

これはなにも料理文化に限ったことではなく、札幌を含む北海道観光全般にもいえることです。つまり、すべての面で横並びの感じがして、サービスや価格で飛び抜けたところがないように感じます。もつとサービスや価格にバリエーションがあつてもいいと思います。特に、富裕層を引き付ける企画や場所が、もつともつとあるべきです。今の札幌、いや北海道観光には格段な